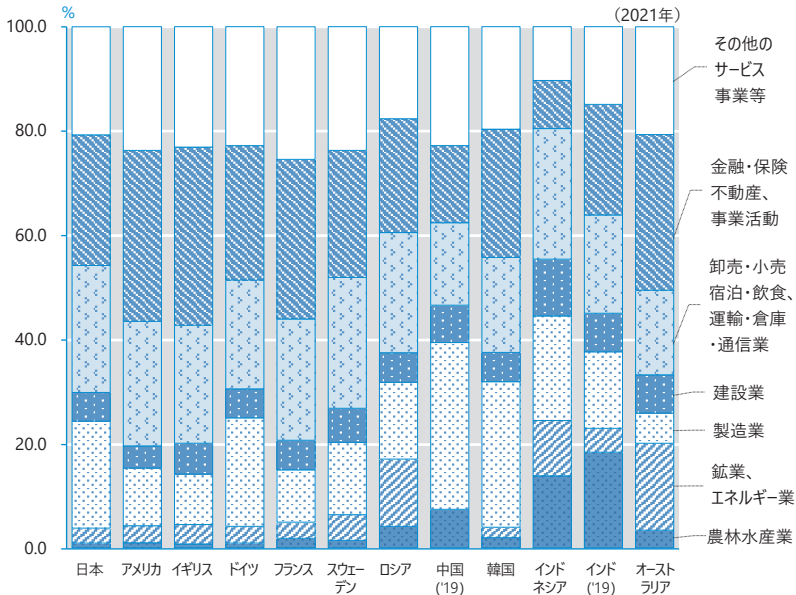


1 経済・経営

1-2 経済活動別国内総生産（構成比）



[関連表](#) p.32 「第1-6-2 表 経済活動別国内総生産（構成比）」

グラフは、国内総生産(総付加価値、生産者価格表示)における経済活動を構成比別にみたものである。この構成比によって、各国における産業構成比が把握できる。

産業構造の変化を長期的にみると、所得の上昇によって、第1次産業から第2次産業、さらに第3次産業へと変化することが知られている(ペティー・クラークの法則)。実際、主要先進国の産業構成は、第3次産業の割合が高くなっている。そうしたなかで、主要先進国のうちでも日本やドイツ、韓国などは、相対的に製造業の割合が高いという特徴がある。他方、インドネシアやインドなどでは、農林水産業が大きな比率を占めている。また、ロシアやオーストラリアでは、鉱業、エネルギー業の割合の高さが顕著である。